



阿部 直文
あべ なおふみ
市民連合
(60分)



学校現場における 業務改善に向けた取り組みは

問

①福山市立学校の教育職員に関する業務管理・健康確保措置実施計画の内容を踏まえた取り組みが全ての学校で行われるよう、抜本的な改善策が必要と考えるが、

②業務改善策に向けた実行性のある改善策を協議するための組織の立ち上げが必要と考えるが、

答

①実施要領や実施計画の内容を踏まえた取り組みが徹底されるよう、改めて全教職員へ内容を周知するとともに、実施状況を把握し、必要な指導を行う。

②校長会との協議体である福山教育推進協議会などを通して学校現場の声を丁寧聞きながら、教職員が働きやすく、働きがいのある学校環境を構築する。



清水 寛敏
しみず ひろとし
市民連合
(55分)



基幹システムの統一、標準化 への対応は

問

移行状況および課題は。

答

基幹20業務のうち、現在13業務の移行が完了している。

残り7業務はシステム業者の人員不足により遅延が生じている。そもそも当初設定された移行期間はシステム業者の開発期間や安全に配慮した段階的な移行を考慮すると非常に短く、リスクが高いスケジュールであった。

こうした課題に対し、中核市市長会などから柔軟な移行期間の設定や移行経費の全額国庫負担を求めてきた。



公契約条例制定は

問

制定に向けた検討を。

答

国の新たな制度の効果を確認する中で慎重に対応したい。



浜本 将矢
はまもと まさや
新政クラブ
(120分)



他校通級に伴う保護者負担は

問

自校と他校通級で保護者負担に差が生じている。把握している課題と今後の対応は。

答

利用を希望しても通級設置校への送迎ができず、申し込みをされない場合がある。通級による指導を必要とする児童生徒が、より利用しやすくなるよう環境整備に努める。

学校トイレのプライバシー確保は

問

課題と今後の対応は。

答

間仕切り壁が設置されていても、その開口部が広いことや、廊下からトイレ内部が見えることについて、児童生徒から不安の声を聞いた学校から、対策について相談が寄せられている。引き続き学校と協議しながらトイレのプライバシー確保に努める。



※通級：通常の学級に在籍している障がいのある児童生徒に対して、大部分の授業を通常の学級で行いながら、一部の授業について障がいに応じた特別の指導を、特別な指導の場で行う指導形態